

平成28年度事業報告

はじめに

会員人口の変化は昇級・昇段審査受審者数の動向に如実に反映している。公益社団法人（以下公社という）移行後のここ6年の統計によると毎年前年比2%平均で減少を続けてきた受審者数は、この1年でも前年比2.7%の減少を見た。「わが国の伝統と文化に培われた剣道（居合道、杖道を含む）を、正しく継承し、剣道の普及振興を図り、もって府民の健全な心身の育成に資する（定款 第3条）」ことを大命題とする当連盟は、この現実に真剣に取り組むこととした。

（参考）全国的に同じ傾向にある

全剣連情報・・・剣窓 H29/2月号「都道府県別新登録者数（初段取得者）数一覧表」

	H27/1-12	H28/1-12	増減率
①東京	3991	3537人	-11.4%
②愛知	3144	2709	-13.8%
③埼玉	2777	2586	-6.9%
④神奈川	2569	2459	-4.3%
⑤大阪	2198	2150	-2.2%

.....
全国計 38910→36458 -6.3%

平成28年度は公社移行後第4期目の役員改選にあたり、差し迫った新たなニーズに対応するため理事を2名増員し、従来の25名から27名とした。常置委員会も新たに女子委員会と学校委員会の2委員会を立ち上げ、18から20に増強した。更に各委員会の連携を深めるため、常任理事を部長（副部長）として関連のある委員会を8部にまとめ、より活動目的を明確に効率よく運営することを目指した。

第11回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会については、これまで地域活性化センターからの400万円の助成金を受けて実施してきたが、昨年の第10回大会を区切りとして打ち切りとなり、これに代わる安定財源の確保が喫緊の課題であった。「高校野球の甲子園」、「高校ラグビーの花園」に匹敵する「少年剣道の舞洲」の火を消すなどの熱い思いの下、共催団体である大阪市も交え、継続開催を前提に財源確保の道を探った。その結果、賛助会員制度の立ち上げとスポーツ振興基金の助成を受けることが出来た。賛助会員制度には昨年度に続き433人、290万円のご協力をいただいた。スポーツ振興基金からは207万円の助成をいただき、合わせて第11回大会を無事開催することが出来た。今年の第12回大会も、これらを安定財源に、より充実した、少年達の心にいつまでも残る大会を目指して邁進したい。

財政基盤の確立については、個人会費と審査料・登録料が主な財源で、更に収支相償（大きな赤字も、大きな黒字もだめ）という公益法人に課せられた難しい縛りの中で、一般会計でこの3年赤字が続いていた。主な要因は昇級・昇段審査受審者数の減少によるものであった。このような環境の中で、1年毎の単年度思考を改め長期的な視点に立って中期計画を策定した。様々なコストプレッシャー要因を把握した上で、安易に会費・審査料等の値上げに頼らない財政運営の模索を行った。赤字事業の見直し、管理費の削減等徹底した緊縮財政に各方面でご理解、ご協力をいただいた。まだまだ安定した黒字体質には程遠く徹底して緊縮財政を継続する。

その他事業については

- (1) 定款に定められた各種大会、講習会、講演会、昇級・昇段審査会、各種大会等への選手・役員への派遣、功労者表彰、安全衛生対策等諸事業については各委員会・事務局が中心にな

って年間行事予定に従い準備、推進した。

- (2) 今年度立ち上げた2つの委員会については出来るだけ早く所期の目的につなげ、軌道に乗せるよう努力した。
- ①学校委員会については、学校現場の情報を密に交換し、その連携を深めて、更なる剣道人口の増加を図る対策の研究を進めた。
 - ②女子委員会については、女子剣道の裾野の拡大が府下剣道界の充実と発展に大きな役割を果たすと考え、女性剣士の交流の場を広げ、指導者層の拡大充実を図った。特に、各種大会での形・模範演武、綱紀安全委員会と共催での「剣道文化講演会」等で女子力を示す活動を積極的に行った。
- (3) 中学校における武道必修化支援については、全日本剣道連盟の主導により、中学校における武道必修化に対応する事業として平成28年9月に「授業協力者養成ブラッシュアップ講座」を実施した。また、大阪府教育委員会では各中学校に呼びかけ、保健体育教員を対象に剣道の授業展開に対応できる教員養成講座を平成28年10月に計4回実施し、当連盟から講師を派遣し全面支援した。また大阪府教育委員会との定期会合で、制度の進展等に向けた意見交換を行った。

以下、平成28年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

I 公益事業

1、個人会員および登録団体の状況

剣道はそもそも道場を基盤とした「道場文化」の上に成り立っていた。公益法人に移行して7年を経過し、組織構成員の位置づけを明確にした個人会員登録制度が定着してきたものの、一方で「道場文化」が希薄化する傾向がみられる。道場を活動拠点として、剣道を通じてよき師に巡り合い、友人関係の深い絆を形成してきたこのよき伝統を是非とも「登録団体」で補完していただきたい。まずは、稽古の場を持つことはもちろん、大会・審査会・講習会等の情報連絡、スポーツ保険や個人登録会費の納入などの事務的なとりまとめ、稽古環境の整備等にはじまり、交知愛の輪を広げる扇の要（かなめ）の役割を積極的に果たしていただきたい。

個人会員数は、高校生相当年齢2,324名、大学生相当年齢1,001名、一般12,788名であった。なお、中学生以下の登録者は9,013名で、その合計は25,126名であった。昨年度と比べると、一般および中学生以下の登録者数は微増で、高校生相当年齢および大学生相当年齢は減少の傾向が窺える。個人会員数合計は横ばいの傾向である。

本年度の入会登録団体は4団体あり、退会登録団体は4団体で、本年度末の登録団体数は増減なく556団体であった。

2、講習会の開催及び指導者育成事業（定款第4条第2号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図る為、当連盟が主催する講習会を、剣道においては、審判法3回、日本剣道形3回、指導法4回、女子剣道普及のための講習会を2回、合計で12回開催したほか、昨年度に引き続き、「剣道高段位受審者対象講座」を2回開催して、高段位受審者の合格率の上昇を目指した。これらに加えて、全剣連後援講習会（剣道指導法）を公認審査員・審判員の候補者となる剣士を中心に受講者を募り、1回行なった。

また、地域・職域における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進した。地域においては、審判法9回、日本剣道形9回、指導法3回、合計で21回開催し、職域（大阪剣道協会、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署、道場連盟）においては、7回開催した。

上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年2回の受講を義務づけている。

さらに、9月には、全剣連の主導により中学校における武道必修化に対応した第3回目の「授業協力者養成講習会」を実施した。受講者は45名であった。

居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など9回実施し、恒例となった、全剣連派遣講師による講習会を1回実施、合計10回の講習会を行なった。

杖道では、12回の主要講習会に加えて10回の月例研修会を開催した。

また、三道共通講習会として、例年開催している、「スポーツ安全講習会」を「文化講演会」として、2月4日(土)エル・大阪に於いて、作家石川真理子氏を講師にお迎えし、「女子の武士道」をテーマとして、開催したところ、145名が受講し、大きな反響を得た。

暑中稽古・寒稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち修道館との共催事業として7月30・31日府民共済スーパーアリーナ(舞洲アリーナ)で実施し、延べ約4,000人の参加があった。府内剣道人が一堂に会し、共に汗を流し、自己の存在を確認し、成長を図る場として、今後とも一層の成果を期待したい。また寒稽古は1月4、5、6日に中央体育館で実施されたが、午後については、中体連、高体連が独自の事業として寒稽古を実施し、これを支援した。

3、各種大会開催事業(同条第3号)

本連盟主催分・・・	6月19日(日)	第53回大阪杖道大会	
	7月9日(日)	第49回大阪府少年剣道大会	
	7月17日(日)	第63回大阪府剣道優勝大会	
	9月18日(日)	第11回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	
	11月19日(日)	第13回大阪府女子剣道優勝大会	
本連盟後援分・・・	11月6日(日)	第39回関西杖道優勝大会	
	11月12日(土)	第46回居合道段別大会	
平成29年	1月8日(日)	第58回大阪居合道大会	
本連盟主管分・・・	4月29日(祝)	第64回全日本都道府県対抗剣道優勝大会	
	5月22日(日)	大阪市長杯第60回市民剣道大会	

4、府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣(同条第4号)

次のとおり派遣した。

<剣道>

4月2日(土)～3日(日)	第51回剣道西日本中央講習会	神戸市
		米村、秋田、大畑
4月17日(日)	第14回全日本選抜剣道八段優勝大会	名古屋市
		石塚、船津、神崎
4月29日(祝)	第64回全日本都道府県対抗剣道優勝大会	大阪市
		新屋、清水、三宅、磯口、村上、大城戸、田中、石田
5月2日(月)～5日(祝)	第112回全日本剣道演武大会	京都市
		参加者：441名
6月8日(水)～12日(日)	第54回剣道中堅剣士講習会	奈良市
		西村、谷山、清家
7月16日(土)	第8回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	東京都
		横須、松本、北山、豊丸、近藤、石田
8月21日(日)	第71回国体近畿ブロック大会	京都府京都市
		少年男・女、成年女子 13名
9月11日(日)	第55回全日本女子剣道選手権大会	長野県長野市
		北井、山本、信田
9月18日(日)	第62回全日本東西対抗剣道大会	福島県郡山市

			大石、佐藤、石田、小坂
9月18日(日)	第11回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	大阪市	
	小学生チーム 2チーム、中学生チーム 2チーム	計4チーム	
10月8日(土)～10日(祝)	第71回国民体育大会	岩手県二戸市	
		成年：男子・女子	2チーム
10月15日(土)～17日(月)	第29回全国健康福祉祭	長崎県五島市	
	大阪府チーム：安達、井上、田中、阪口、川頭、右田		
	大阪市チーム：菊池、山本、永田、江良、大泉、平尾		
	堺市チーム：本田、金内、河内、藤澤、藤田、小池		
11月3日(祝)	第64回全日本剣道選手権大会	東京都	
		升田、江島、土谷	
<居合道>			
5月2日(月)	第112回全日本剣道演武大会	京都市	参加：59名
7月9日(土)～10日(日)	全剣連地区講習会	香川県高松市	
			参加：72名
9月3日(土)～4日(日)	第43回全剣連中央講習会	京都市	
		中野、光行、伏見	
10月22日(土)	第51回全日本居合道大会	東京都	
		伏見、杉本、中島、東	
<杖道>			
5月2日(月)	第112回全日本剣道演武大会	京都市	
			参加：18名
6月4日(土)～5日(日)	第25回全剣連中央講習会	千葉県勝浦市	
		帆谷、高山	
8月27日(土)～28日(日)	全剣連地区講習会	山形県天童市	
			参加：9名
10月16日(日)	第43回全日本杖道大会	岡山県岡山市	
	三段：西村(夢道場) 五段：渡邊(住吉武道館)	六段：大島谷(玄武館)	
			参加：57名
平成29年1月14日(土)～15日(日)	全剣連地区講習会	東京都	
			参加：17名

5、称号および段級位の審査並びに段級位の授与(同条第5号)

段位審査会は、剣道6回、居合道2回、杖道2回実施した。剣道の受審者数は5,469名で、前年より3.2%の減少、居合道は増加、杖道は減少した。

6、功労者の表彰(同条第6号)

- ①平成28年度 全剣連 剣道有功賞 松端 孝元
松尾 剛男
- ②八段昇段 杖道 坂上 亨
- ③平成28年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞
- | | | |
|-------|-------------|-----------|
| 豊能地区 | 庄内南剣道クラブ | |
| 三島地区 | 穂積剣道 | 高野台剣友会 |
| | 摂津警察少年剣道推進会 | |
| 大阪北地区 | 茨田剣友会 | 鶴見少年剣道推進会 |

大阪南地区	福島警察少年剣道推進会	
北河内地区	西成少年年剣道クラブ	
中河内地区	門真警察署少年剣道推進会	
堺地区	八尾市剣道協会中	八尾警察署少年剣道推進会
	浄心館	聖志会
	南堺警察署少年剣道推進会	

④平成28年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞

金賞	高濱 春海
銀賞	大國 博
〃	中野 伊織
〃	出口 重藏
団体賞	大阪講武館大淀本部

⑤大阪体育協会 70 周年記念顕彰「体育功労賞」 島野 大洋

⑥第8回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 優勝
横須、松本、北山、豊丸、近藤、石田

⑦第58回全国教職員剣道大会 団体戦 優勝 田川、村上、山本、川上、神崎

⑧第58回全国教職員剣道大会 女子の部 優勝 大石 香菜

⑨第49回全国教育系大学学生剣道大会 女子団体の部 優勝 大阪教育大学

⑩平成28年度全国警察剣道選手権大会 男子の部 優勝 大城戸 知

⑪平成28年度全国警察剣道大会 団体戦1部 優勝 大阪府警察

⑫第59回全日本実業団剣道大会 優勝 パナソニックエコソリューションズ社門真

⑬第64回全日本学生剣道優勝大会 優勝 大阪体育大学

⑭第31回全日本学生居合道大会 優勝 近畿大学

7、その他大剣連の目的達成のための必要な事業（同条第7号）

①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

◇地区および職域講習会の開催

各地区・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して33回開催され、活発な活動が行なわれた。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された40回の剣道大会に後援、援助を行なった。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、

60回の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し、援助を行なった。

◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページの活用について検討を続け、ツイッター・メールマガジン・行事の写真・動画の配信を引き続き推進した。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を提供している。

②安全対策

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、大剣連主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。把握している加入数は213団体2,818名で、加入団体数は微増であったものの、加入人数は6%程度減少した。なお一層の加入者数の増加に努めたい。

傷害発生傾向

事故・傷害の保険適用件数は61件で、昨年度に比べ減少した。事故の内容は、これまでと同様に、四肢の捻挫や骨折が多い。その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也発生しており、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

II. 収益事業

1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計885冊を販売した。

2、広告等募集事業

大会プログラムに広告掲載を各方面より募集し、総数36件、総計695,000円の協力を得た。

III. 共通事業

事業活動組織

常任理事会を3回、理事会を5回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行なった。

常置委員会として、総務・法規整備、綱紀・安全、個人情報保護管理、補助金審査、財務、未来構想、IT・広報、普及、講習会、審査員選考、審判員選考、審査、審判、強化、事業、少年、女子、学校、居合道、杖道の20専門委員会を設置、それぞれの領域で活動を行った。

その他

当連盟のシンボルマーク「千成瓢箪」については特許庁への商標登録を完了、英訳表記「The Osaka kendo Federation」については特許庁へ出願中である。

平成28年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

講習会名称		実施回数	指導者数	参加者数
連盟主催	審判講習会	3回	15名	153名
	日本剣道形講習会	3回	14名	129名
	指導法講習会	4回	21名	138名
	女子稽古会・講習会	2回	10名	104名
計		12回	60名	524名
地区職域	審判講習会	14回	29名	675名
	日本剣道形講習会	11回	21名	624名
	指導法講習会	3回	7名	133名
	計	28回	57名	1,432名
合計		40回	117名	1,956名

12月 3日(土) 全日本剣道連盟後援講習会 指導法 於修道館
 全剣連派遣講師：草間 益良夫 教士 参加：61名

(2) 各種大会の開催

5月22日(日) 大阪市長杯第60回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)
 優勝：男子の部 トールエクスプレスジャパン(株)A 於修道館
 女子の部 大阪拘置所 参加：80チーム
 442名

7月 9日(日) 第49回大阪府少年剣道大会
 兼 第11回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会大阪府予選会
 於大阪市中央体育館
 優秀チーム 参加：247チーム
 高学年：寺内剣友会、穴師剣道会、泉南警察少年剣道推進会 737名
 低学年：大阪つばさ剣道クラブ、小山田源流館、竹の子剣道クラブ

7月17日(日) 第63回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館
 優勝：男子一般 PL学園剣友会 参加：231チーム
 女子一般 大阪剣道協会 1,190名
 高校男子 PL学園高等学校

9月18日(日) 第11回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 (大阪市・大剣連主催)
 於府民共済SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)
 参加：小学生の部 47チーム
 中学生の部 47チーム

11月19日(日) 第13回大阪府女子剣道優勝大会 於東和薬品ラクタブドーム

個人戦の部 優勝 一部：森山 二部：鳥井 三部：紀田
 四部：熊原 五部：安田 参加：151名
 団体戦の部 優勝 一部：大阪体育大学A 二部：茨木市剣道協会A
 参加：43チーム、164名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行なった。

(3) 各種予選会の開催

4月16日(日) 第8回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選
 代表：松本、北山、豊丸、近藤、石田 於修道館
 参加：44名

5月9日(土) 全国健康福祉祭剣道交流大会予選会 於修道館
 参加：40名
 代表：(大阪府チーム) 安達、井上、田中、阪口、川頭、右田
 (大阪市チーム) 菊池、山本、永田、江良、大泉、平尾
 (堺市チーム) 本田、金内、河内、藤澤、藤田、小池

5月15日(日) 第71回国民体育大会・成年の部・大阪府予選 於修道館
 参加：98名
 代表：(男子) 前田、萩原、友井、窪田、山本
 (女子) 山本、酒匂、石田

5月20日(土) 第55回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選 於修道館
 参加：30名
 代表：北井、山本、信田

8月21日(日) 第64回全日本剣道選手権大会・大阪府予選 於大阪市中央体育館
 参加：62名
 代表：升田、江島、土谷

平成29年2月26日(日) 第65回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選 於修道館
 参加：151名
 代表：廣崎、奥山、足達、山本、大城戸、田中、江藤

(4) 審査会

6月19日(日) 高槻市総合体育館
 7月24日(日) 大阪市中央体育館
 10月15日(土) 近畿大学記念館
 11月23日(祝) 岸和田市総合体育館
 平成29年1月22日(日) 大阪市中央体育館
 3月20日(祝) 府民共済SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比	
受審者数	2,341	1,725	639	390	374	5,469	△183	△3.2%
(うち女性)	733	484	178	97	94	1,586	△4	△0.2%
合格者数	2,056	1,262	374	161	110	3,963	+109	+2.8%
(うち女性)	656	366	100	36	19	1,177	+91	+8.4%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八 段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比
受審者数	541	283	266	72	36	—	1,198	△ 18 △ 1.5%
合格者数	98	47	0	72	36	—	253	△ 28 △ 10%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月17日(日) 第63回大阪府剣道優勝大会

於大阪中央体育館

演武

日本剣道形

西川 潔 — 玉井寛孝

小野派一刀流

井上勝由 — 野村光輝

宝蔵院流槍術

前田繁則 — 尾野好司

7月30日(土)～31日(日) 暑中稽古 於府民共済SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)

参加者:延約4,000名

平成29年 2月12日(日)

第21回大阪武道祭 演武

於大阪中央体育館

参加:NTT西日本女子剣道部員・パナソニックES社女子剣道部員 女性剣士9名及び指導者2名

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

5月14日(土)	第1回特別強化練習会・全日本居合道大会選考会	於千島体育館	参加：123名
6月18日(土)	審判講習会	於修道館	参加：65名
7月23日(土)	第2回特別強化練習会	於東淀川体育館	参加：135名
8月6日(土)	夏季居合道講習会	於東淀川体育館	参加：181名
9月22日(祝)	全剣連伝達講習会	於修道館	参加：144名
平成29年1月21日(土)	新年合同稽古会	於修道館	参加：120名
1月28日(日)	第3回特別強化練習会	於修道館	参加：123名
2月11日(祝)	高段者特別錬成会(英信流)	於東淀川体育館	参加：24名
2月18日(土)	春季居合道講習会	於東淀川体育館	参加：195名
2月26日(日)	無外流特別錬成会	於和泉市幸小学校	中止
平成28年4月2日(土)～3日(日)	全剣連派遣講師講習会	於修道館	参加：延225名
全剣連派遣講師：河口 俊彦 範士			

(2) 各種大会の開催

11月12日(土) 第46回居合道段別大会 於修道館 参加：160名

(段外は優秀賞、初段～六段は優勝、七段は最優秀賞・部長賞の受賞者のみを記載)

<男子> 段外：パウ・ドレイベン(一貫会)、柳田(茨木)、菊池(大剣協)、林(北摂会)
初段：浦崎(近畿大) 二段：宮原(近畿大) 三段：堀(交通局)
四段：永井(水月会) 五段：曾和(振興会) 六段：坂口(一法会)
七段：最優秀賞…東(振興会)、部長賞…松向寺(大剣協)
<女子> 初段：平田(八重垣会) 二段：柳井(近畿大)
三・四段：老松(箕面協) 五・六段：三木(北摂会)

平成29年1月8日(日) 第58回大阪居合道大会 於府立体育会館 参加：1,168名

(段外は優秀演武賞受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は福田一男杯、居合道同志会長杯および優秀演武者受賞者のみを記載)

<男女混成> 段外：40名
七段…福田一男杯受賞者：糸田孝博(東京)
…大阪居合道同志会長杯：和泉修二(副岡)
…最優秀演武者：原田 渡(神奈川)
<女子の部> 初段：豊原祐未(同志社大) 二段：鷺坂夕季(同志社大)
三段：田口玲子(新潟) 四段：鈴木佳果(神奈川)
五段：東 朱美(愛知) 六段：瀧澤朋未(京都)
<男子の部> 初段：木村伊志(早稲田大) 二段：高橋優樹(京都市)
三段：志村雄基(埼玉) 四段：田中伸明(東京)
五段：草間大介(新潟) 六段：隠岐充啓(兵庫)
<団体の部> 優勝：水月会 2位：八重垣会

(3) 各種予選会の開催

5月14日(土) 第51回全日本居合道大会大阪府選手選考会 於千島体育館
(第1回特別強化練習会) 参加: 123名
監督: 伏見 選手: 杉本、中島、東

10月29日(土) 第58回大阪居合道大会大阪府予選会 於東淀川体育館
参加: 151名
3位: 近畿大学・大阪剣道協会 決勝戦は、1月8日大阪居合道大会で実施した。

(4) 審査会

8月29日(土) 於修道館
平成29年3月4日(土) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	39	32	24	22	21	138	+25名
合格者数	31	27	15	13	9	95	+26名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	12	5	13	3	2	—	35	+2名
合格者数	2	2	0	3	2	—	9	△1名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月17日(日) 第63回大阪府剣道優勝大会 於大阪中央体育館
演武 無双直伝英真流・太刀打之位 光行良一 — 本郷雅昭

11月19日(土) 第13回大阪府女子剣道優勝大会 於東和薬品ラクタブドーム
演武 無双直伝英真流之形 植田あつ子
全日本剣道連盟 居合之形 川口伊都子

平成29年2月12日(日) 第21回大阪武道祭 演武 於大阪中央体育館
参加: 東 弘一 — 柴田勝己 無津呂弘之 — 辰巳清貴

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 9日(日) 春季講習会	於東淀川体育館	参加：75名
5月 8日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：52名
6月12日(日) 審判講習会・伝達講習会	於川西市総合体育館	参加：44名
7月 3日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：32名
8月21日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：44名
9月 3日(土) 秋季講習会	於修道館	参加：80名
9月11日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：42名
10月 9日(日) 審判講習会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：46名
12月11日(日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：47名
平成29年1月 9日(祝) 稽古初め	於東淀川体育館	参加：62名
2月12日(日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：47名
3月12日(日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：47名
5月～3月 杖道月例研修会	於川西市総合体育館等	10回開催

(2) 各種大会の開催

6月19日(日) 第53回大阪杖道大会兼第43回全日本杖道大会大阪府予選会
於修道館 参加：180名

(優勝者のみを記載)

初段以下：高畠(神戸大) 二段：安藤(小野睦会) 三段：西村(夢道場)
四段：鈴森(垂水睦会) 五段：渡邊(住吉武道館) 六段：大島谷(玄武館)

11月6日(日) 第39回関西杖道優勝大会 於川西市総合体育館 参加：155名
 <団体戦> 優勝：紀州有信会 準優勝：守口杖道教室
 <個人演武優秀賞> 段外：福井(玄武館)、中林(泉北はつが野)、原(神戸大)
 初段：田中(住吉武道館)、中西(住吉武道館)
 二段：金丸(紀州)、曾根(泉北はつが野)、天田(紀州)、
 福本(守口)
 三段：大塚(玄武館)

(3) 各種予選会の開催

※上記、6月19日(日) 第53回大阪杖道大会兼第43回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

(4) 審査会

4月17日(日) 於大阪中央体育館

11月20日(日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	9	13	12	11	6	51	△37名
合格者数	7	10	10	4	3	34	△15名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	5	3	5	1	0	—	14	+5名
合格者数	3	1	1	1	0	—	6	+2名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月17日(日) 第63回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館

演武	全日本剣道連盟杖道形	下谷光生	—	坂上 亨
	内田流短杖術	古谷重勝	—	佐藤政子
	一心流鎖鎌術	中野伊織	—	帆谷増幸
	一角流十手術	石河和彦	—	坂上 亨

11月19日(土) 第13回大阪府女子剣道優勝大会 於東和薬品ラクタブドーム

演武 老松美由紀 — 高山ゆき子

平成29年2月12日(日) 第21回大阪武道祭 演武 於大阪市中央体育館

参加: 中野伊織 — 古谷重勝 近藤眞佐雄 — 坂上 亨

3月 5日(日) 杖道体験講習会

於森ノ宮医療学園

一般受講者7名

これらの他、普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いだ。

平成 28 年度事業報告 附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般法施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 29 年 5 月

公益社団法人 大阪府剣道連盟